

IB (インターナショナルバカロレア)
DP (ディプロマプログラム) の認可取得!!

コリア国際学園 IB認定校へ! 2018年度から授業開始!

- ◇ いよいよIBの授業が始まる
- ◇ KISの教育理念とIB
- ◇ IBでなにが変わるのか

코리아국제
Korea International School

◇ いよいよIBの授業がはじまる

国家や民族、文化や宗教など人類の平和と共生を阻害するあらゆる境界を越えて活躍する「越境人」の育成を目指し、2008年に大阪府茨木市に誕生したコリア国際学園。この度、国際バカロレア(IB)校として認可され、設立10周年を迎える2018年度から授業を開始することになりました。

コリア国際学園の新しいステージの始まりです。

IB認可を受けた今日、あらためて、「なぜKISでIBを実施するのか」について考えてみたいと思います。

「IBの使命」で提唱されている「多様な文化の理解と尊重の精神」や「より良い、より平和な世界を築くことに貢献」は、KISの「建学の精神」に明記されている「個性と多様性の尊重」、「世界と東アジアの持続可能な発展に貢献」とまったく同質の考え方です。また、「探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成」は「柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成」と相通ずる観点であると言えるでしょう。

画一的な問題に対する固定化した回答を数多く記憶させようとする「詰め込み式」の教育プログラムではなく、柔軟な思考と積極的な活動によって様々な問題、課題を解決する力、そのような創造性に富んだ能力こそが、21世紀を生きていく若者達に求められています。

IB教育プログラムを導入することによって、コリア国際学園は、建学の精神である「越境人の育成」を目指す教育をさらに力強く推進できることになりました。

在日コリアンも日本人も、そして色々なアイデンティティを有する若者達が協同して学んでいく学校に、KISは更に進化して行きます。



◇ KISの教育理念とIB



コリア国際学園は何を目指し、IBを取り入れることで何が変わるのか。まずは国際バカロレア(IB)についてお話いたします。

国際バカロレアは1968年にスイスで設立された国際バカロレア機構(IBO)によって運営されている世界共通の教育プログラムです。IBOが掲げる教育理念は「全人教育」であり、共通カリキュラム作成や試験の実施、修了資格の付与などを行っており、世界140以上の国・地域、4,969校(日本国内:48校)において実施されています。(2017年10月20日現在)

近年、日本でも国際バカロレア(IB)の教育を積極的に推進しています。

文部科学省は「教育の国際化」を目指して、日本語で国際バカロレア(IB)教育を実施可能とする「日本語DP(ディプロマプログラム)」の開発・導入を推進し、2018年までに200校の高校にDPを導入する計画を正式に決定しています。DPIは国際バカロレア(IB)教育の中で高校2年、3年次の生徒を対象に実施されるプログラムです。DPを修了した生徒には、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)が与えられ、世界の大学へ進学するルートを確保することができます。日本の大学でも国際バカロレアのスコア等を活用した入学者選抜を積極的に導入・拡大する動きが広がっています。

コリア国際学園(KIS)は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園では多様な生徒たちが、多様な先生たちとともに学んでいます。日本人、在日コリアン、韓国人、中国人。でも国籍や民族、生まれた場所と住んでいる場所、文化や習慣など一言で「〇〇人」と言える人は世界では珍しいのです。自分をしっかりと見つめ、個々をしっかりと見つめることで世界を理解することができるのです。

グローバル化と情報化が加速し、解決すべき人類共通の課題に直面している今、世界は「越境人」を求めています。コリア国際学園は柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた「越境人」の育成を目指しています。

コリア国際学園が目指す学生像は「自主的な人」「共生する人」「越境する人」です。

コリア国際学園の教育は国際バカロレア教育を取り入れることで、さらにパワーアップします。

多文化共生

建学の精神
境界をまたぐ越境人

人権と平和

自由と創造

コリア国際学園 建学の精神と教育理念

探究する人 知識のある人 考える人

コミュニケーションができる人 信念をもつ人

心を開く人 思いやりのある人 挑戦する人

バランスのとれた人 振り返りができる人

IBの学習者像

◇ IBでなにが変わるのか



国際バカロレア教育では教科の学力を重視するだけでなく、人間力を育むための幅広い知識と教養を身に付けることが求められています。評価の方法も日本の教育とは大きく異なります。DP課程の生徒たちは2年間にわたり6教科を学ぶと同時に、知識の論理(TOK)、創造性・活動・奉仕(CAS)、課題論文(EE)という「学ぶことに対する根源的な問いかけ」や社会奉仕活動などの課外活動が必修となっており、卒業前には論文形式と口述形式の試験が3週間にわたって実施されます。

問題を設定し、資料を集め、解決方法を考えて実践する。データを集めて検証し、真理を導き出す。さらにその過程を検証し、国際的な意義を考える。IBではこのような学びを実践します。

コリア国際学園では言語A(母語)と言語B(外国語)を3科目、個人と社会、実験科学、数学・情報科学から1科目ずつの合計6科目を学びます。6科目とコア科目であるTOK、CAS、EEをクリアすることで国際バカロレアの資格を取得することが出来ます。

コリア国際学園は、これまでも3言語修得のための教育と持続発展教育(ESD)を多様な方法で推進してきました。教室での授業だけでなく体験授業や実際の問題解決のためのプロジェクト型授業など、「越境人」育成のための教育を多様な方法で実践してきました。今後、国際バカロレアDPプログラムを取り入れることで、誰もが「ゆたかな学び」を実感できるようになります。

